

フライングディスク競技 細則等

1 監督会議

- ・参加各校から担当1名の出席を要請する。
- ・監督会議は受付を兼ね、出場者の確認と欠席届の回収を行う。

2 競技細則

◆アキュラシー種目◆

(1) 区分

「小」「中」「高」の3区分とし、障害種によるクラス分け、性別によるクラス分けはしない。

(2) 競技種目

- ① ディスリート・スリー：スローイングラインの中央よりアキュラシーゴールまでの距離を3mとする。
- ② ディスリート・ファイブ：スローイングラインの中央よりアキュラシーゴールまでの距離を5mとする。

(3) 競技方法

- ① 試技は10投連続して行う。
- ② 投げ方は自由とする。
- ③ 競技上有利となる用具の使用は認めない。
- ④ プレーヤーが視覚障害者の場合は競技役員がアキュラシーゴール後方3mの距離から電子音によってアキュラシーゴールの中心部の位置を知らせることができる。
- ⑤ 試技の時間は、プレーヤーが1投目のディスクを受け取ってから5分とする。5分を超えた試技は無効とする。

(4) 得点

得点は、ディスクが地面に触れずに直接アキュラシーゴールを通過した回数とする。
逆方向から通過した場合は得点とならない。

(5) 順位の決定

- ① 順位は得点の多さで決定する。
- ② 同得点の場合は、第1得点を先に挙げた者を上位とする。第1得点と同じ場合は、順次、得点を先に挙げた者を上位とする。
- ③ ②の方法によって1位、2位、3位が決定しない場合は、1セット（3投）の再投（追加試技）を行い得点の多さで順位を決定する。ただし、4位以下の者で同得点の場合は、再投は行わず、同順位とする。
- ④ ③の方法によって再投を行った結果、同得点となり1位、2位、3位が決定しない場合は②の方法によって順位を決定する。
- ⑤ 再投は3位が決定するまで、最大5セットまで行う。
- ⑥ ⑤の方法によっても順位が決定しない場合は、同順位とする。

(6) 反則

- ・試技中に身体の一部や補装具（椅子等を含む）がスローイングラインのプレーヤー側の側面以外に触れたとき。またはスローイングラインを踏み越えたとき。
- ・ただし、フットレストがスローイングラインの上方空間に出ることは反則としない。
反則のあった試技は1投の試技とみなすが、得点は無効とする。

◆ディスタンス種目◆

(1) 区分

- ・座位女子（レディース・シッティング）
- ・立位女子（レディース・スタンディング）
- ・座位男子（メンズ・シッティング）
- ・立位男子（メンズ・スタンディング）

(2) 競技方法

- ① プレイヤーは競技エリア内で試技しなければならない。
- ② プレイヤーは試技の前に1投の練習をしなければならない。練習用ディスクは競技用と同規格のもので色は黄色とする。
- ③ 競技は3投連続して行う。
- ④ 投げられたディスクの有効範囲は、競技フィールド前方180°とする。
- ⑤ 距離の計測は、スローイングライン計測点から、ディスクが最初に触れた地点までとする。
- ⑥ 投げ方は自由とする。
- ⑦ 競技上有利となる用具の使用は認めない。
- ⑧ 試技の時間は、プレイヤーが1投目のディスクを受け取ってから3分とする。3分を越えた試技は無効とする。
- ⑨ 座位で競技をする場合のシートの高さはクッションを含め、75cm以下とする。

(3) 記録

- ① 記録は3投の試技で最も距離の遠い着地点を計測する。
- ② 計測はcm単位とし、1cm未満は切り捨てる。

(4) 順位の決定

同順位の場合、1位、2位、3位は1投の再投（追加試技）により決定する。再投は順位が決定するまで行う。4位以下のものが同順位の場合は、再投は行わず、同順位とする。再投の記録は公式記録としない。

(5) 反則

- ① スローイングエリア内から助走したとき
- ② その他のスローイングに関する反則は、アキュラシーと同様に扱うものとする。

3 選手の介助

- ・介助が必要な場合は、エントリーシートの備考欄に「介助」と記入して事前に申請することとする。当日の変更などは認めない。
- ・選手が視覚障害者以外の場合、介助者の介助は移動時限り、スローイングエリアへの立ち入りはできない。また、介助者からプレイヤーへの指示や技術的な指導、競技上有利になるような助言はできない。
- ・選手が視覚障害者の場合、競技状況を知らせるための介助者がスローイングエリアに1名同行できる。アキュラシーの場合、介助者が伝えられるのは投げる方向、通過・不通過の状況で、技術的な助言はできない。
- ・介助者は各サイトの審判の指示に従う。介助者に度重なる違反がある場合は退場を命じられることがある。

4 欠席の手続き

- ・ **前日まで**に欠席が分かっている場合は、欠席届を特体連事務局に提出する。
- ・ **当日**の欠席は、本部前に設置してある欠席届に記入して監督会議で報告のうえ、用紙を提出する。
- ・ 欠席用紙は競技ごとに異なる。選手が両方の競技にエントリーしている場合は、アキュラシーとディスタンスの競技ごとに欠席用紙を提出する。

欠席届の様式

- ・ アキュラシー

アキュラシー 欠席届			
学校名	選手番号	選手氏名	出場組
			()部()位()組
第25回 秋田県特別支援学校総合体育大会「フライングディスク競技」			
提出者(学校名・職員氏名) _____			
※提出後の変更は認められません。			
※この用紙は選手1名につき1枚使用します。			

- ・ ディスタンス

ディスタンス 欠席届			
学校名	選手番号	選手氏名	出場組
			()部()位()組
第25回 秋田県特別支援学校総合体育大会「フライングディスク競技」			
提出者(学校名・職員氏名) _____			
※提出後の変更は認められません。			
※この用紙は選手1名につき1枚使用します。			

備 考

- ・ 撮影場所・・・撮影が可能な場所はプレイエリアから距離が離れています。
※実施要項を参考にして、撮影用カメラや撮影用レンズを御準備ください。
- ・ 問合せ先・・・大会前：特体連事務局までお問い合わせください。
大会当日：競技会場でお近くの専門部員にお問い合わせください。